

新品種ノ一ト

鳥居喜一*・浅井康宏**

On Some New Forms of Japanese Plants

Kiichi TORII* and Yasuhiro ASAI**

(With 2 Text-figures)

1. トガリミサルトリイバラ (新称)

サルトリイバラ *Smilax china* Linnaeus は周知の通り、わが国の山野に普通に見られる極めて分布の広い落葉蔓本であって、晩秋、その赤熟した果実は美しく、人目を引くものである。

従来、本種には種々の変種が知られていたが、ここにその果実が略球形状で、しかも先端が鋭く突出する一型を記録、報告しておきたい。本品は写真 (Fig. 1.) に示すように、今までわれわれが見なれてきたものと異なり、ちょっと変わった形状を呈している。よって、これに上記の和名を命じ、記載しておく。



Fig. 1. Fruits of *Smilax china* LINN. form. *napiformis* K. TORII et ASAI.

Smilax china LINNAEUS form. **napiformis** K. TORII et ASAI, f. nova

Fruct napiformia vel sphaerica apice acuta, 8~9 mm. in diametro, 10~12 mm. longa.

Nom. Jap. Togarimi-sarutori-ibara (nov.).

* 鳳来寺山自然科学博物館 Hōraiisan Natural History Museum, Aichi Pref., Japan.

** 東京歯科大学生物化学教室 Biological Laboratory, Tokyo Dental College, Japan.

原稿受理 1970年1月31日 横須賀市博物館業績 第207号

Hab. On sunny site of Kawai, Hôraichô, Prov. Mikawa, central Honshû (K. TORII, Jan. 15, 1967—Type in Herb. Bot. Inst., Fac. Sc., Univ. Tokyo).

2. ムラサキセツブンソウ (新称)

周知のごとく、セツブンソウ *Eranthis pinnatifida* Maximowicz は主に本州中部地方の山梨などの半陰地に見られる小形の可憐な多年草で、群落を成して生じている。

本種は白色あるいは淡黄色を帯びた草姿の割には大形の花弁状の萼片を着けるが、一方全草(茎葉)が濃紫色を帯び、しかも萼片も淡紫色(スミレ色)を呈するものがある。

この形は常品に混じって小群落をなして生じていることが多く、遠方からもその存在は明瞭に識別出来、異彩を放ち、しかも全草が稍々小形である。これをセツブンソウの一形と認め、上記の和名を附して記載しておきたい。

Eranthis pinnatifida MAXIMOWICZ form. **purpurascens** ASAI et E. TORII, f. nova

Planta atropurpurea, sepala violascens. Cetera ut in typico.

Nom. Jap. Murasaki-setsubunsô (nov.).

Hab. On shaded grassy places under the forest of Kôchi, Tôeichô, Prov. Mikawa, central Honshû (Y. ASAI and E. TORII, Mar. 21, 1967—Type in Herb. Bot. Inst., Fac. Sc., Univ. Tokyo).

3. マルミノアオキ (新称)

アオキ *Aucuba japonica* THUNBERG は、本州(関東以西)、四国及び九州の主に山地樹陰に広く分布する常緑灌木であり、また古くから庭木としても一般に栽植され、極めてなじみ深いものである。

従って従来、花あるいは果の色などによって、多数の変種、品種が区別されている。

筆者も以前から本種の変異について、種々の観点から注意してきたが、ここに新たに一品を追加記載しておきたい。

すなわち、写真 (Fig. 2) に示すように核果が略球形状を呈し、楕円形あるいは長楕円形状の常品に比べて、はなはだ特異な感を与える。そして紅熟すると丁度、小形にしたリンゴを想起させるもので、従来、これをマルミノアオキあるいはリンゴアオキと呼んでいたものである。

Aucuba japonica THUNBERG form. **sphaerocarpa** ASAI, f. nova

Fructa globosa rubra, 12~14 mm. in diametro.

Nom. Jap. Marumi-no-awoki vel Ringo-awoki (nov.).

Hab. Hondo: Prov. Musashi, Setagaya, Tokyo (Cult.). (Y. ASAI, Mar. 5, 1967—Type in Herb. Bot. Inst., Fac. Sc., Univ. Tokyo).



Fig. 2. Fruits of *Aucuba japonica* THUNBERG form. *sphaerocarpa* ASAI.